

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
61025	教育行政（木曜・1限）	各2単位 前期	2～3	講義	照屋 信治（非）

■テーマ

現代公教育制度の意義、原理及び構造について、その法的及び制度的仕組みに関する基礎的知識を身に付け、そこに内在する課題を理解する。また、学校安全、学校と地域との連携についての理解を深める。

■授業の概要

上記のテーマで以下の達成目標に到達するため、教育行政の中立性、教育委員会制度、教育内容に関する制度、教育権の保障、教育財政、教職員の身分、公教育制度、地域との連携、学校安全といった内容等を、関連法規とともに学んでゆく。教員として最低限必要な教育行政、教育行政の概要を身につけてもらいたい。具体的な事例や課題を取り上げ、学生の思考の促進をめざす。授業方法としては、授業の前半は講師による問題の解説をおこない、後半は学生による意見交換・議論・課題作成などを行う。

■到達目標

①公教育の原理及び理念を理解している。②公教育制度を構成している教育関係法規を理解している。③教育制度を支える教育行政の理念及び仕組みを理解している。④教育制度をめぐる諸課題について例示することができる。⑤地域との連携及び協働による学校教育活動の意義並びに方法を理解している。⑥地域との連携を基とする開かれた学校づくりが進められてきた経緯を理解している。⑦学校の管理下で発生する事件、事故及び災害の実情を踏まえ、学校保健安全法に基づき、危機管理並びに事故対応を含む学校安全の必要性を理解している。⑧生活安全、交通安全及び災害安全等の各領域の安全管理並びに安全教育の両面から具体的な取組を理解している。

■授業計画・方法

1. 教育行政と教育基本法について
2. 教育行政の中立性について
3. 教育委員会制度について
4. 教科書採択制度について
5. 教科書検定制度について
6. 学習指導要領について
7. 教育を受ける権利の保障
8. 子どもの権利条約について
9. 教育費と教育財政について
10. 学校の管理と運営について
11. 教職員の養成・採用・研修と身分保障について
12. 公立小中学校の学校選択制度と学区制について
13. 中高の接続について－6・3・3制度を考える－
14. 学校と地域の連携について－各種の制度、子どもと貧困問題を事例に－
15. 学校安全について－学校での事故と訴訟、防災、学校の取り組み－、全体のまとめ（テスト）、定期試験は実施しない

■履修上の留意点（授業以外の学習方法を含む）

- ・教師や学生間の対話を重視した授業を行う。提示されたテーマについて意見をまとめ、発表し、議論すること。
- ・各授業回に提示されたキーワードをネット、書籍でチェックした上で受講すること。
- ・授業外の学修時間として、授業の予習として各授業回のキーワードの下調べを行い、授業の復習（レジュメの再読）15時間程度、レポート作成30時間程度、テスト勉強15時間程度を費やすこと。

■成績評価の方法・基準

□方法 平常点60%、テスト30%、レポート10%。平常点は、授業での課題点であり、発言内容、授業態度、ワークシートの提出も含まれる。

□基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

■教科書・参考文献（資料）等

□教科書 使用しない

□テキスト 教師作成のレジメをテキストとして用いる。

□参考文献 参考書等は各回の授業で提示する。『沖縄で教師をめざす人のために』（上地完治・他編、共同出版、2016年）、『教育行政学-改訂新版』（勝野正章，藤本典裕、その他編著、学文社、2015年）など。